ニッポン美人化計画

Text: Ryoko Kobayashi

MAKE-UP: UDA

MISSION
100
2018.4

PHOTO: Shunya Arai (YARD)
STYLING: Arisa Tabata
HAIR: KANADA (LAKE TAJO)

目元や唇中央にちょこんと使ったピンクの使い方は、和の発想。日本女性を、もっとも美しく引き立てるメイクのひとつです。

ブルゾン ¥24,000(ユーイージー | ジェムプロジェクター)／Vネック キャミボディスーツ ¥41,000(ヴィヴィアン ラムゼイ | エディット フォー ルル)／サコッシュ ¥2,500(テイケン | アンシングス)

今月のミューズが生まれるまで

YOKO LEEさん
フィルムエディター
2018. 2. 7 at Shirokanedai
Photo: UDA

モデルに応募してくれた人の中で、どこか衝動的で鋭い目線が魅力的だったLEEさん。「写真を見て、何かを持っている人だと感じた通り、夢は映画監督。その意思が現れているのような強い目元からは想像つきませんでしたが、会ってみたときのガーリーな空気感も良いなと思いました」(UDAさん)

LEEさんの鋭さと可愛さを生かすために取り入れたのは、和のエッセンス。「昔から季節感を大事にしてきた日本的な考えで、春色のピンクを選択。目元をぐるりと囲むように使い、和メイクのように両端に赤みを強めに入れます」(UDAさん)

さらにピンクが研ぎ澄まされて見えるよう、肌の白さを強調する白粉で仕上げ、口紅は唇中央のみに。

「こういった日本古来の化粧をカジュアルに取り入れれば、ストリートにも、神聖なムードを出すことでできるので、甘いイメージのピンクも、キリッと仕上がります」(UDAさん)

目元には、濃淡2色のピンク(5)を使用。青みのある薄ピンク(5の上)は、ブラシでくるくると塗でるように、上下アイホール全体に。濃ピンク(5の下)は、小さなブラシを使い、目のキワをぐるりと囲むように塗った後、指先でなじませる。目頭と目尻、上瞼のアイホールの外側のラインのみ多めに重ね、色を強く出すのがポイント。さらに、睫毛の生え際は、同系色のアイライナー(2)で埋めて引き締め、上の睫毛には、毛先を中心にオレンジのマスカラ(3)を。仕上げた目元を避けて、肌の透明感をアップさせるフェイスカラー(1)を全体に塗る。リップメイクは、やさしいコーラルのリキッドリップ(4)。唇の中央にまあるく塗る。

5 4 3 2 1

1: くすみを払って澄んだ白肌に。ラトゥー エクラ ルースパウダー ¥5,000(ポール & ジョー ボーテ)
2: 筋なじみの良いローズニュアンス。ドローイング ペンシル #Pローズ パープル 72 ¥2,400(シュウ ウエムラ)
3: 鮮やかなオレンジ。軽やかなつきで、カールも持続。ジュエル カラー マスカラ #Indian Summer ¥3,200＊6/15限定発売(アディクション ビューティ)
4: ミルキーなコーラル。染まるように色づき、しっとり感も長続き。リリカル リップブルーム #02 ¥3,500(THREE)
5: 頬やリップにも。ほどよくマットな質感。マルチペイントカラーズ #04/#07 各¥3,000(RMK Division)

UDA

メイクアップアーティスト。雑誌・広告のファッション&ビューティや著名人を手がけるほか、舞台のメイクプランニングも。本企画ではディレクションから担当。作品のアーカイブも見られるHPがオープン! uda-kesho.com/top

美人化モデル募集中! ページに登場してくれるモデルさんを募集しています! お名前・住所・電話番号・年齢・職業・一言メッセージと、すっぴん&お気に入りの服を着たスナップ(上半身)を1枚ずつメールでお送りください。ginza.bijinka@gmail.com